

平成27年度第1回習志野市文化財審議会会議録

日 時 平成27年8月24日（月） 午後3時30分～午後5時
場 所 習志野市役所第4分室2階会議室
出席委員 山岸会長・夏目副会長・山本委員・阿由葉委員（朽木委員は欠席）
出席職員 植松教育長・広瀬生涯学習部長・井澤生涯学習部次長
佐々木社会教育課長・金子文化財係長・松浦主査・岩田主事補
傍聴者 0名

会議次第・内容

— 開会 —

1. 会長挨拶

会議次第「7. その他」は個人情報に関わる案件であるため、非公開とすることに決定した。

2. 教育長挨拶

3. 職員紹介

4. 議事録署名人選出

委員名簿の順に従い、夏目委員と阿由葉委員が議事録署名人に選出された。

5. 報告

（1）指定文化財・登録文化財等

ア 県指定文化財

事務局 県指定文化財について報告。

- ・旧大沢家住宅について、平成27年7月31日現在の入館者数を報告。
- ・旧大沢家住宅の敷地に入る木戸の部分の南京錠をつけてある掛け金（指定範囲外）が壊されたこと、警察には器物損壊の被害届を提出したことを報告。
- ・旧鵜田家住宅について、災害復旧工事の実施に伴い全面休館中であることを報告。
- ・旧鵜田家住宅の災害復旧工事について、基礎の復旧工事が終了し、曳家（曳戻し）作業を7月22日に実施したことを報告。
- ・市のホームページで「小金原のしし狩り資料 村小旗」を紹介するページを新たに作成したことを報告。

委員 旧鵜田家住宅の曳屋は、何メートルぐらい移動したのか。また、時間はどのくらいかかったのか。

事務局 1時間半弱で約26m移動した。

イ 市指定文化財

事務局 市指定文化財について報告。

- ・実籾3丁目遺跡出土土器については、総合教育センターで引き続き展示中。
- ・鷲沼古墳B号墳箱式石棺については、例年通り清掃を実施。

委員 箱式石棺の清掃は、年に何回実施しているか。

事務局 年に2～3回程度で、そのほか状況により随時実施している。

委員 県指定文化財が指定されるプロセスを教えてください。どういう審議にかけられ、どのような文化財が指定されるのか。

事務局 基本的には、市指定と同様に千葉県文化財保護審議会の答申を受け、千葉県教育委員会会議の議決を経たうえで指定される。本市で、旧鴛田家住宅が市指定から県指定に格上げになったように、市指定文化財などから選ばれることが多いのではないかと。

ウ その他

事務局 文化財の防犯対策について

- ・平成27年2月以降、各地の寺社等で油状の液体が撒布され、文化財等が汚損される被害が相次いだことを受け、文化庁及び千葉県教育委員会から注意喚起の通知が出された。本市でも、国登録文化財所有者に対し、防犯対策及び点検の徹底について依頼し、併せて文化庁による「文化財の防犯対策の強化のお願い」を配付したことを報告。

(2) 埋蔵文化財

ア 開発に伴う埋蔵文化財の取扱確認・協議業務

事務局 埋蔵文化財包蔵地に係る相談業務、確認・協議の状況を報告。

委員 実籾小学校南側の開発についてはどのような扱いになったのか。

事務局 昨年度のうちに取扱確認があった。現地踏査を行い、埋蔵文化財が所在しないことを確認している。

イ 周知の埋蔵文化財包蔵地における埋蔵文化財の取扱い

事務局 周知の埋蔵文化財包蔵地における埋蔵文化財の取扱いについて報告。

(3) その他

ア 文化財等の調査・整理

事務局 市史関連資料の収集と現在保管している資料の整理について報告。

イ 文化財等の普及・活用

事務局 文化財等の普及・活用について報告。

- ・埋蔵文化財調査室及び総合教育センターにおいて考古資料及び文献資料の展示を行っている。

- ・総合教育センターにおいては、指定文化財の実叡3丁目遺跡出土土器、昨年報告書が出た藤崎3丁目南遺跡出土土器、文献資料では、「富士山と民間信仰」に関する資料を展示している。
- ・国立歴史民俗博物館の企画展「ドイツと日本を結ぶもの―一日独修好 150年の歴史―」に、本市からドイツ兵捕虜収容所関連資料（ボトルシップ2点、エーリッヒ・カウルの日記）を出品した。
- ・文化財や歴史に関する問い合わせ、資料の利用依頼などへの対応を行った。

委員 エーリッヒ・カウルの日記については、市史等で内容が把握できるようにはなっているのか。

事務局 近年寄贈されたため、いまだ翻訳には至っていない。ただし、内容に関してはこれまでも知られている。原文は筆記体で書かれているが、元の所有者の親戚にあたる方が、活字化してドイツで自費出版されており、その本を読んだ日本の研究者によって内容紹介記事が書かれている。また、多くの部分に関しては、別の研究者によって日本語訳がインターネットで公開されている。本市としても翻訳は行いたいと考えており、現在、準備作業を進めているところである。

委員 歴博での展示が終了した後の市内での展示は総合教育センターを考えているのか。

事務局 未定であるが、ドイツ兵捕虜収容所の所在地に近いこと、資料の保存・展示環境の点で、総合教育センターが第1候補だと考えている。

ウ 文化財保護行政の推進

事務局 文化財保護行政の推進について報告。

- ・千葉県北西部地区文化財行政担当者連絡協議会において文化財関係の情報交換、展示会・発表会の準備作業などを行った。
- ・本年度は千葉県北西部地区文化財発表会を習志野市で開催する予定である。平成28年1月30日、習志野市民会館・大久保公民館での開催を予定している。
- ・平成27年度市町村文化財担当職員講習会に参加した。

6. 協議

(1) 習志野市指定文化財の指定について

事務局 習志野市指定文化財の指定候補について、審議を依頼。

- ・習志野市教育委員会からの諮問内容について説明。
- ・指定候補の物件について説明。

会長 8世紀後半～9世紀前半ごろに鑄造された銭貨が多く出土しているが、谷津貝塚の集落の変遷とは時期的に対応しているのか。

事務局 谷津貝塚では9世紀の前半に大型の掘立柱建物群があるなど、集落の最盛期を迎えたと考えられ、おおむね対応していると考えられる。ただし、県内での銭貨の出土状況も同傾向であることは注意される。

会 長 指定された後には市民への公開が必要になると思うが、どのような保存状態での公開を考えているか。

事務局 金属製品とその他の資料とでは扱いが大きく異なると考えられる。墨書土器や瓦塔については、環境による影響は比較的少ないので、総合教育センターなどで展示したい。金属製品に関しては、空気に触れるだけで劣化が進行するため、現在は密閉した袋に入れ、酸素・水分を遮断した状況で保管している。短期間であっても袋から出しての展示はできるだけ控えたい。環境に注意を払いながら短期間の展示にとどめざるを得ない。今年度は千葉県北西部地区文化財発表会が本市で開催されるので、その際には展示したいと考えている。そのほかの機会に関しては、時期を見計らって展示を実施していきたい。

会 長 真空パックで密封している状態での展示方法が、一般の見学者にどれだけ理解されるかが重要だと思う。

委 員 指定するということは基本的には公開が伴うと思う。

委 員 文化財の汚損やゴミの投棄なども報告されているので、文化財の価値や大切さが浸透するような公開の仕方があれば良いと思う。特に教育との関係でそのような効果のある公開ができれば良いと思う。

会 長 審議の結果、本審議会においては本物件を指定することに決定し、習志野市教育委員会に対し答申するという事によるか。

委 員 (異議なし)

会 長 では、習志野市教育委員会に対し、本物件は指定すべき物件であると答申する。

— 以下、非公開 —

7. その他

(1) 国登録文化財について

— 閉会 —